

植物を使った実験教室

葉の断面でわかる 植物のくらし： キャンパスの植物を 顕微鏡で観察

植物は根を土壤に張り、茎と葉を地上部に展開しています。葉は、光を受けて光合成をおこなう大切な器官です。しかし、葉の形や中身のつくりは植物の種類によって大きく違っており、それぞれに意味があります。お茶の水女子大学のキャンパスには、植栽を含めて300種以上の植物が生育しており、葉の違いを観察するには良いフィールドです。

この実習では、キャンパスの植物の葉を採取し、葉をとても薄く切った断面（横断面）のプレパラートを作り、顕微鏡で観察します。表皮、葉肉、葉脈（維管束）などのつくりを比べながら、「なぜこんな違いがあるのか?」「どんな環境に合ったつくりなのか?」と一緒に考えてみましょう。

担当講師：植村知博・岩崎貴也（お茶の水女子大学 理学部 生物学科）

2026/3/27 [Fri]
13:30-16:00

定員
20名

会場：お茶の水女子大学 理学部1号館521室

主催：お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

対象：中学生、高校生（保護者の方も見学できます）

申込フォーム（要申込）

<https://www14.webcas.net/form/pub/ocha/20260327>

3/25（水）までにお申し込みください。



お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp

TEL: 03-5978-5825 FAX: 03-5978-2650

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

D&I社会実現のための学び方・働き方に関する実証研究：実証研究1「高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査」実証試験